

西^{にし}の空^{そら}に、まっ赤^{あか}な夕^ゆ日^{うひ}が沈^{しず}

もうとしていました。

遠^{とお}くの山^{やま}は金^{きん}色^{いろ}にかがやき、川^{かわ}

の水^{みず}は静^{しず}かに流^{なが}れていました。

杜^と子^し春^{しゅん}は、その美^{うつく}しい景^け色^{しき}をじ

っと見^みつめながら、ひとりで考^{かん}

えていました。

「どうしたら、お金^{かね}持^もちになれ

るのだろう……。」

芥^{あく}川^{たが}龍^{わり}之^{ゆう}介^{のすけ}「杜^と子^し春^{しゅん}」より